


2. 瀬戸内海における湾・灘ごとの主な伝統行事

注記：使用している画像は、自治体より提供して頂いたもの、自治体の観光協会等の公的機関のホームページおよび協会保有のものから引用した。

京 都

府県名	海文化（伝統行事名）	伝 統 行 事 の 内 容
京都府	祇園祭（京都市）  公益財団法人祇園祭山鉾連合会 京都市中京区室町通蛸薬師下ル 山伏山町 554 TEL：075-223-6040 URL: http://www.gionmatsuri.or.jp/	<p>京都八坂神社の祇園祭は、千百年余の伝統を有し、毎年7月1日の「吉符（きっぷ）入り」から31日の疫神社「夏越祓（なごしのはらえ）」まで1カ月に渡る神事で、古くは祇園御霊会（ぎおんごりょうえ）と呼ばれ、平安時代の貞観11年（869年）に都を中心に全国的に流行した疫病退散の神事を行ったことが始まりとされる。</p> <p>この祇園祭の季節に、鰻（ハモ）料理は欠かすことができないものとなっている。なぜ、鰻を食べるのかという理由は、特に暑い祇園祭の時期に長いものを食べると精力が付くとか、生命力の非常に強い魚であるために輸送技術が発達していなかった時代でも、大阪湾や明石海峡で採れた鰻を夏に京都まで生きたまま輸送できたからといわれている。祇園祭りは別名「鰻祭」とも呼ばれている。</p>

大 阪 湾

府県名	海文化（伝統行事名）	伝 統 行 事 の 内 容
大阪府	住吉祭（夏祭） 特に大阪湾海上の安全を祈る「神輿洗神事」（大阪市）  住吉大社 〒558-0045 大阪府大阪市住吉区住吉 2丁目 9-89 TEL：06-6672-0753 URL： http://www.sumiyoshitaisha.net/calender/natu.html	<p>大阪最後の夏祭りを締めくくる住吉祭は、大阪中をお祓いする「お清め」の意義があり、古くより「おはらい」ともいわれた。7月の「海の日」に「神輿洗神事」、7月30日に「宵宮祭」、翌日「例大祭」、そして8月1日にはいよいよ、住吉大神の御神霊（おみたま）をお遷した神輿が行列を仕立て、堺の宿院頓宮（しゅくいんとんぐう）までお渡りする「神輿渡御（みこしとぎよ）」が行われる。</p> <p>神輿洗神事とは、住吉祭の8月1日に堺市宿院への神輿渡御に先立って、その神輿をお清めする神事で、神輿を住吉大社から向かいの住吉公園まで巡行し、海水によって神輿が祓い清められる。この海水は、直前に「汐汲舟」（しおくみぶね）と呼ばれる舟を出し、大阪湾沖合いの神聖な海水を汲み上げたものである。神輿は海水で清める神事を終えたのち、住吉大社までお還りになる。</p> <p>住吉大神は、お祓い、航海安全、和歌の道、産業育成などを守護している。</p>